

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
・体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		
	2	職員の配置数は適切であるか	3		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		
支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3		
保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			3
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		

の説明	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		
	35	個人情報に十分注意しているか	3		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		
	時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		

工夫している点、課題や改善すべき点など		
十分な広さのスペースを確保している。		
手すりや補助階段や補助便座などを用意している。		
職員ミーティングで業務改善に努めている。		
初年度なので評価を集めている段階。来年度以降に評価を元に業務改善につなげる予定。		
初年度なので評価を集めている段階。来年度以降、評価を元に業務改善につなげる予定。		
行っていない。来年度から外部評価を行う予定。		
月に1回事業所内で研修を行っている。外部の研修にも積極的に参加している。		
保護者と子どものニーズを明確にして、成長を見守りながら、中間評価をおこなって随時、改善をプログラムに反映している。		
利用している。		
職員全員で活動プログラムの立案と改善を行っている。		
職員全員で活動プログラムの立案と改善を行っている。		
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。		
子どもからだや心理状態、年齢に応じて成長段階を見極めて、個別支援と集団支援を組み合わせながら実施している。		

支援開始前後で職員ミーティングを行い、支援内容の確認と振り返りをやっている。		
支援開始前後で職員ミーティングを行い、支援内容の確認と振り返りをやっている。		
記録をとることで精一杯になる日もあるので、検討改善の機会を増やす予定。		
半年に1回以上のモニタリングを行っている。		
基本活動を子どもの状態やニーズに合わせて組み合わせて支援している。		
児童発達支援管理責任者と事業所長が必要なミーティングに参加している。必要に応じてその他担当者も同行している。		
月に1回は必ず連絡を取っている。また、必要に応じて連絡をしている。		
対象児童なし		
全員はできておらず必要な子どもに限って連絡を取っている。		
対象児童なし		
外部研修に参加している。		
コロナが落ち着いてから検討予定		
市内の福祉サービス事業所連絡会や子ども部会の会議に参加している。		
定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い子どもの課題や成長について認識を共有している。		
定期的に面談を行う中で保護者の相談を聞くことはあるが、プログラムとしては用意できていない。今後の課題と認識している。		
利用契約締結時に重要事項説明書を用いて説明している。また、疑問があればその都度解消できるよう相談に応じている。運営規定はプレイルームの壁に掲示していつでも見れる状態にしている。		
定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い子どもの課題や成長について認識を共有している。		

コロナのため開催していない。		
苦情対応責任者を定め、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。		
定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めている。		
職員は採用時に個人情報守秘義務同意書に捺印している。年に1度個人情報取り扱いに関する研修を行っている。		
子どもの特性や保護者に配慮し、意思疎通や情報伝達に勤めている。		
地域の方をイベントに招待したり、地域の方の畑で農作業を体験させていただくことで、地域の方々と交流している。		
職員への周知は徹底しているが、保護者への周知は改善の余地あり。		
定期的に避難訓練を行っている。		
研修会等に積極的に職員参加を行なっている。		
身体拘束は行なっていない。身体接触に際しては本人への同意と保護者への同意が必須としている。身体接触、安全確保等について職員一同で研修し十分な訓練を行なっている。		
食事の提供を行なっていないが、保護者から情報把握を行なっている。		
毎回ヒヤリハット報告を行い、打ち合わせ等で話し合いを行なっている。		